

# りつめい

題字・末川 博名誉総長

Ritsumeikan University  
Alumni Association  
立命館大学校友会報

Rits  
立命館大学

No. **219**  
JANUARY 2005

特集1

アテネオリンピック・  
パラリンピックメダリスト  
栄光の銀メダルを語る

特集2

立命館小学校の  
開設をめざして

Brilliance  
輝くひと  
52

剥き出しの魂が、勝利を欲する

木曾 一さん ('01理工)  
ヤマハ発動機株式会社ラグビー部員  
日本代表選手



立命館大学 校友会報

# りつめい

## 特集1

### アテネオリンピック・ パラリンピックメダリスト 栄光の銀メダルを語る

武田美保さん・米田容子さん・北尾佳奈子さん  
江島大佑さん

## 輝くひと

木曾 一さん

## RITSUMEI INTERVIEW

### 時代小説家

藤原緋沙子さん

### 恩師の窓

真田 是 名誉教授 (産業社会学部)  
橋本輝彦 経営学部教授

### キーワードから見る現代

### バイオメトリクス

藤枝一郎 理工学部教授

### 立命館あの頃

1990年～1995年頃 その1

### All-Rits立命館校友大会2004報告



## 特集2

2006年4月予定

### 立命館小学校の 開設をめざして

浮田恭子 小学校設置準備事務室長

### 第2回りつめい読者の会報告

### 校友会ネットワーク

古田敦也さん・武田美保さん

### トークショー報告

### 産業社会学部創設40周年 記念式典報告

### Rits One ときの人

村上桃子さん

### キャンバストピックス

### 学生のスポーツ&イベント

### INFORMATION



## 剥き出しの魂が、勝利を欲する



(上) 写真提供・ヤマハ発動機株式会社

表紙の人

ヤマハ発動機株式会社  
ラグビー部員  
日本代表選手

木曾 一さん  
(01理工)

攻撃の仕掛け人、身長195cmの木曾選手。片手で楽々とボールをキャッチするその大きな掌で、ジャパントップリーグなど国内での栄冠と、世界のラグビーと渡り合う力とをつかみ取ろうとしている。2004年春夏にはニュージーランドへ武者修行留学し、最強レベルの州対抗リーグ (NPC) ノースハーバー州代表に選ばれたという栄誉にも浴した。間違いなく、日本のラグビーを世界レベルに押し上げるためのキーマンである。

5歳からラグビーに親しみ、大学3年生だった99年に早くも日本代表入りした。「勉強との両立が大変で、遠征先でもレポートを書いていた。立命館のチームのことも気になって…。その時々、何をどうするのが最善かをいつも考えていた学生時代でした」。

2003年ワールドカップ出場時、「国の重み」を文字通り両肩にずしりと感じたという。日本のラグビーのために何を為すのか。「エキサイティングな試合をし続ける。これしかありません。社会人チームにいて恵まれている僕たちが、生きるためにラグビーをしている外国選手と戦うには、精神面を徹底的に鍛え上げなければ。ニュージーランド行きもその一環でした。世界で一つでも多く勝ちたい。“善戦”では意味がないのです」。

ヤマハの仲間とともに追う勝利、日本代表としての勝利。求める味は違っても、芝の上での爽快感は変わらない。「社会では、一枚二枚皮をかぶる場面もありますよね。フィールドではそれらを取り払って、ぎりぎりの状況下で木曾一という人間を洗いざらい出し切ることができる。だから僕は、ラグビーが好きなのです」。

<http://www.yamaha-motor.co.jp/profile/sports/rugby/>

(表紙写真・小幡 豊 文・寺田直子)

Ritsumeikan University Alumni Association, JANUARY 2005 No.219

# CONTENTS



OLYMPIC and  
PARALYMPIC  
GAMES  
MEDALISTS

# 銀メダル

アテネオリンピック・  
パラリンピック  
メダリスト

を語る

## 特集1 栄光の

エネルギーのほとばしる激闘が記憶に新しい、  
アテネオリンピック・パラリンピック。

シンクロナイズドスイミングでは、

武田美保、米田容子、北尾佳奈子の校友3選手が

実力を余すところなく発揮。

そして、パラリンピックの競泳メドレーリレーでは、

産業社会学部1回生の江島大佑さんが、

渾身の泳ぎでチームを導きました。

その結果、立命館からのアテネ出場選手すべてが

銀メダル獲得という快挙を成し遂げたのです。

母校に凱旋したシンクロ3選手の生の声と、

闘病の苦難を乗り越え、

更なる目標に挑む江島選手の姿をご紹介します。



## 世界の頂点を目指す幸せが、 どんな辛さをも吹き飛ばす

### これ以上ない完全燃焼

——見事銀メダル獲得 おめでとうございませう。そして、お疲れさまでした。アテネオリンピックを終えてのお気持ちはいかがですか。

**武田**▼終わった直後は、ベストのコンディションで身体もよく動き、思い描いていた演技ができた、達成感や満足感を感じていました。本当に、メダルの色は…、金を狙っていたけれど叶わなかったわけですが、色は関係ないんだと納得のいく演技ができて嬉しかったです。今は、細かい部分について、「やっぱり、こういうふうにはできればもっと良かったのでは」などと思いつくこともあります。けれども、それもこれも含めて、人間として、かけがえのない経験を積む事ができたということです。

私たちがここまで来る間に係わった、たくさんの方々のあたたかさを今ひしひしと感じています。一つひとつのエピソードを思い出して、感謝しています。

**米田**▼演技を終えた時は、身体も心も、本当にギリギリいっぱいの状態でした。先生（編集部注：井村雅代監督）に誉められたことが単に嬉しくて、それだけで満足だったんですけれども、帰国してみたら、日本中の人が応援して下さっていたことがとてもよくわかって、「全然知らない方々にも支えられてここまで来られたんだ、自分ひとりやってきたわけじ

やないんだ」と改めて感じました。私も武田さんと同じく、感謝の気持ちでいっぱいです。

**北尾**▼私は初めてのオリンピック出場でした。試合の直前は、緊張という言葉では表現しきれない精神状態で、とにかく演技のことで頭がいっぱいだったので、きつとすごい顔をしていたらどう思うと思います（笑）。タケミホさん（注：武田美保選手）が私の手を握って、「大丈夫だから」と声をかけてくれましたし、井村先生からも、「私も一緒に飛ぶからね」と勇気づけていただきましたので、それが精神安定剤代わりになりました。「一人じゃないんだ」と…。チームの一員であっても、私の担当部分は私がしっかり演技しきらなければならぬので、本質的には一人なんです。けれども、そうやって声をかけてもらえるだけで、「ああ、きつと飛べる」という気持ちになれたのを憶えています。

——試合直後も、その後も、「悔しい」という言葉はありませんでした。が、それほどの完全燃焼だったので、ですね。

**武田**▼晴れの舞台で努力の成果を出せなかったならば、正直に悔しいと言います。今回は、泳いでいる時の感覚がとても良かったんです。「今日は、いけてるな」と、お互いに感じられて、泳ぎ終えた瞬間に「ああ、できた！」と思いました。コーチも第一声で「よく泳ぎました」と言っ

てくださいました。

でも、時間が経ってみると、「金に届かなかったけれど、いいじゃないか」と思うための、自分に対する言い訳、あるいは、なだめ、のようなものとして、「とてもよくできたんだ」と感じるという面も少しはあるのかもしれないと思います。自然に湧いてきた「できた」という感覚だと思っているけれど、もしかしたら…。順位は厳然と付けられますから、自分の「できた」という感触から一歩引いて、金、銀という序列だけを見れば、悔しいは悔しいですよ。

――採点競技につきものの、印象に左右される部分に対する悔しさですか。

武田▽種目が二つ、デュエットとチームがありますけれど、デュエットに関しては、採点は受け入れなければならぬもので、不服はないですが…。絶対的な答えがない。芸術性というものの対する評価は、とても微妙で、それは私たちの手の届かないところにありますからね。とても出来が良かったと言っていたのですが、採点が、薄皮一枚ずつ、全部下だったんですね、金のロシアよりも。ですから、何と言うか…。感動を与えきれなかったのではないかという思いはあります。伝えきれなかったものは何かなと、考えています。チームに関しては、初めのテクニカルルーティーンの出来が、はつきり言って悪かったです。

## 栄光の銀メダル

アテネオリンピック・パラリンピックメダリスト

を語る



北尾 佳奈子さん

(’04経営)

9歳でシンクロを始め、20歳の時にナショナルAチーム入り。アテネ大会での銀メダルが初の五輪の成果。



米田 容子さん

(’02経営)

6歳でシンクロを始め、2000年にナショナルAチーム入りする。姉の祐子さん(’98産社)とともに出場したシドニー五輪、今回のアテネ五輪と、2大会連続でチーム銀メダルを獲得。



武田 美保さん

(’99産社)

5歳で水泳を、7歳でシンクロナイズドスイミングを始める。94年、ナショナルAチーム入り。アトランタ五輪でチーム銅メダル、翌97年より立花美哉選手とデュエットを組み、シドニーならびに今回のアテネ五輪でデュエット・チーム共に銀メダルを獲得。01年世界選手権デュエットでは金メダル獲得。

それでも、決勝のフリールーティーンでは、私たちの持っている力はすべて出せたと思っています。

――武田さんの長い選手生活の間に、日本のシンクロにはダイナミックな変遷がありましたね。

武田▽そうですね。アトランタオリンピックでは、ずっと強いとされていたアメリカとカナダが金、銀で、日本が銅。当時は、隊形、列の美しさといった部分や、量感などが、評価の基準だったのです。ところがその後、それまで四位だったロシアがトップに躍り出て、それからですね、シンクロの流れに急激な変化が起こったのは、スピードと芸術性がともに要求されるようになって、演技の内容がどんどんハードになりました。シドニーオリンピック以降は、速さを保ちながらどこまで乱れずにできるかという域まで来て、“スポーティシンクロ”の様相が一段と濃くなりました。私たちも、演目の変更にもなって、筋肉の使い方自体を変えることに挑戦していました。シンクロが変わったおかげで、結果として、トレーニングでも様々なチャレンジができたんです、楽しく。

## 気絶しかけても自分と闘い続ける

――なるほど。前向きなとらえ方ですね。それでは話を変えて、ナシ



ナルAチームの日頃のことについておたずねします。一日二時間練習なさるとか、とにかく大変だということが伝わって来るのですが、合宿中の一日の生活はどんな具合ですか。

**北尾** 長時間の厳しい練習と、それから、食事の量が、朝も昼も夜も、とにかくいっぱいなんです。一日五千キロカロリー以上、食べられるだけ食べます。筋肉だけでなく、水に浮くための体脂肪も必要なので、午後の練習が終わると、またしっかり食べて、その日の練習をビデオで振り返ったり、チーム内の申し合わせをしたりします。それが終わるとまた食べて、次の日に備えて頭の中を整理して、そして寝る。こんな感じですよ。

**米田** 一日が二四時間では足りないんです、本当に。

**武田** 合宿は長期にわたるので、自分の気持ちの整理をその日のうちに付けることができないと、辛いだけの練習になってしまいます。上達し

ないというのは、新しいことを吸収できなくなってしまう状態なんです。ですから、気持ちの切り替えがとても大切。それをやれる人の勝ちです。

**米田** シンクロのことしか考えないのではなくて、ほっとできるときには思いっきりリラックスするように心掛けていました。

**北尾** 実は、追い込まれて、一人では解決できない時も何回もあったんです。そうなったときは井村先生はじめコーチのところへ、アドバイスをいただきに行ったりもしました。

——身体への負荷が、あらゆるスポーツの中で最も甚だしくて、意識が朦朧として気絶しそうになっても身体を動かさなければならぬということに聞き及んでいます。実際、そんな状態になることもあるのですか。

**米田** はい。毎日毎日倒れそうになりますけれども、それが練習なので、身体がボロボロになっても、試合までに何とかしたいと思ってやっています。「昨日までこの箇所でもっともしんどかったけれども、今日は少しだけ楽になったな」と、身体の感覚から自分の進歩がわかるのです。だからこそ、また明日も頑張ろうと思える。そう考えないとやっていけないです。

——あまりに辛すぎて？ 身体も心も、コーチとの関係も……

**米田** 身体は辛いけれど、他は辛くはないですね。世界の頂点を目指すわけで、誰にでもできることではないので、それに挑戦できる位置、環境にいられることがまず幸せですよ。だから辛いという言葉は当てはまりません。当然するべきことなので。

**北尾** ロシアがどういうトレーニングを積んでいるか全然わからないんですけれども、あれほどの同調性を見せることは、かなりのトレーニングを積まないと不可能です。私たちは勝ちたければ、それ以上のことをするしかありません。

——皆さんが闘う相手は、誰ですか。外国選手はもちろん、ナショナルAチームの選手同士の競争も、コーチとのせめぎ合いもあるでしょう。最後は結局……

**武田** 究極、自分ですね。「選手一人ひとりの、“己”の闘い」を設定していくのがコーチの役目」と、先生もおっしゃっていました。憎まれてもいいという気概をもって、私たちにハードルを設け、それを超えさせようとするコーチの努力というのは、並大抵ではないんですよ。私たちは自分のことだけで精一杯で、先生のそういう部分を感じる余裕がありませんでしたけれど……。だから練習では、自分との闘いが、コーチとの闘いのような形をとるわけです。先生の設定まで行けない自分が、そこまでたどり着くにはどうしたらいい

いか考え、やり抜くこと、それは結局自分との闘いで、その闘いに負けてしまうと、先生とも、もちろんロシアとも闘えません。

井村先生については、厳しい面はかりがクローズアップされますが、プールサイドから離れると、気さくに声をかけてくださって、シンクロ以外の話もたくさんなさるんですよ。

## 大好きな立命館のすべてに感謝

——さて、立命館大学で学生生活と競技生活とを両立されたことを振り返ると、どんな感慨をお持ちですか。

**武田** 学風に慣れて入学して、大変かもしれないけれども、どうしても両方やりたいと思っただけです。でも日本代表の合宿中などは、自分一人で頑張るだけではどうにもなりません。私たちに合った両立のさせ方を一緒に模索してくださった立命館大学の皆さん、助けてくれた友人に、本当に感謝しています。出席がなかなか叶わない授業では、レポート課題を頂いたり、追試の申請をして下さったりと、多くの理解とサポートをいただきました。でも、決して甘やかされなかったのが良かったですね。あたたかい、人とのつながりの中で、狭い意味での勉強以外にいろいろ学べたのが有難かったです。

## 栄光の銀メダルを語る

アネネオリンピック・パラリンピックメダリスト



## 世界の頂点を目指す幸せが、 どんな辛さをも吹き飛ばす

**米田**▼支えをいただいでこそでしたが、兩立できたという思いが、自信にもつながりました。

——立命館での一番いい思い出は何ですか。

**北尾**▼「学生なんだなあ」と感じたのは、学園祭でクラスの人々と模擬店を出した時です(笑)。仲間と一緒にというのが、とても楽しかったです。

**米田**▼私はサービスマネジメントやスポーツマネジメントに加えて、スポーツ栄養学や、スポーツサイエンスの分野も勉強しました。レポートを書くにあたって、「この事柄は、シンクロにおいてはどうかだろうか」と考察をしたことで、いろいろな角度からシンクロという競技を見つめることができ、選手としての向上に大いに役立ったと思っています。

——今後の目標は、武田さんは引退を發表なさいましたか。

**武田**▼具体的なことは模索中ですが、パフォーマンスとしてもっと幅広い自己表現の方法を獲得していきたいという思いがあります。泳ぐ事だけではなくて、例えば書くとか、お話しをするということも勉強していきたいと思っています。

**米田**▼私も引退します。私は本当に立命館大学が好きな

ので、できれば職員になりたいと希望しています。

**北尾**▼私は競技生活を続けます。今まで立派な先輩方に教えていただいた、たくさんの方のことを、次は伝える立場で、また、自分自身ももっと成長できるように頑張ります。

——立命館校友の皆さんへ、一言ずつメッセージをお願いします。

**米田**▼立命館が私たちをここまで理解してくださる大学になったのは、先輩方のおかげだと思います。本当に感謝しています。私も、卒業生として恥じない人間でありたいと心から思っています。

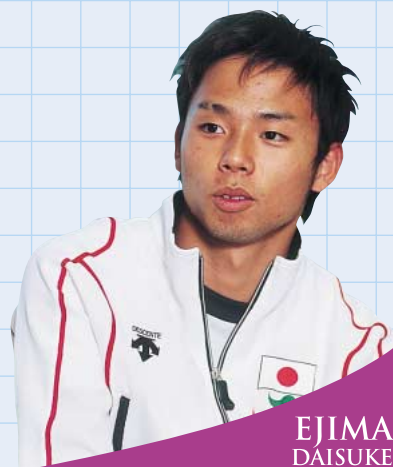
**北尾**▼私たちと同年代の皆さんは特に、立命館大学で何がしかのチャンスの芽をつかんで卒業されたのではないかと思います。そんなチャンスの詰まった立命館大学に感謝と喜びをもって、そのチャンスを無駄にしないよう頑張っていきたいと思っています。

**武田**▼皆様から温かい応援をいただき、本当にありがとうございます。これまで頂戴したご支援に対して、どのようなお返しができるのかを考えながら、皆さんと一緒に頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

——今後も、それぞれの道で活躍なさいますようお祈りします。どうもありがとうございました。

(10月6日 衣笠キャンパスにて)

## アテネパラリンピックでは 「これまでで最高の泳ぎ！」 江島 大佑さん(産社1)が



江島 大佑さん(産社1)

**オ**リンピックに続いて開催されたアテネパラリンピックで大活躍したのは現役学生の江島大佑さんである。競泳(運動機能障害)の四種目に出場し、二〇〇mメドレーで銀メダルを獲得、一〇〇m背泳ぎでは五位入賞を果たした。

「僕のメダルも、支えてくださった皆さんの力あってこそだと思います。応援のメッセージを書き込んでいただいた日の丸を、ずっとポケットに入れていました。感謝の言葉から始め、すがすがしい表情で結果を振り返った江島さん。メドレーリレーの前には足の指に怪我を負ってしまったそうだが、「何とかメダルを」との執念を体現した「これまでで最高の泳ぎ」でスタートから抜け出し、第一泳者(背泳ぎ)の仕事をしつかりとやり遂げた。

三歳で水泳を始め、順調に上達した。ところが、競泳選手として伸び盛りであった中学二年生の時、脳梗塞に襲われてしまった。

「倒れた直後はかなり悩みましたが、一週間後に、”悩む時間をリハビリに当てよう。前向きに進もう。”と思い直しました。入院中に、前回のシドニーパラリンピックをたまたまテレビで見て、”自分も四年後、あの舞台に立とう。”と思いました。それからは練習環境作り、トレーニングと、一つひとつ積み木のように頭の中で組み立てて、ひたすら実行してきました」

二年後の世界選手権、四年後のパラリンピックと、目標が続く。「でも、水泳で結果を出せればそれで良いというわけではありません。水泳は目標の一つ。社会で立派に一人立ちしたい。そのために立命館大学でしっかりと勉強します。」

時代小説家

# 藤原 緋沙子

さん(りつめい)

## 専業主婦からの出発

出す本、出す本、刷りを重ね、時代小説の世界に鮮やかに切り込んでいた藤原さん。取材時には自宅で仕事をしていたが、その直後、執筆の場をホテルに移すと聞いた。「待って下さっている出版社の方々に迷惑はかけられませんから」と言うのだ。

藤原 私、布団でゆっくり眠るといいうことがないんです。書いていて疲れたら、座椅子を倒して仮眠して、また書く。その繰り返しで…。ずっと脚本を手がけてきましたが、小説家としては、まだここ二年なのです。こんなに書かせていただけるなら、もう少し早く転身できればよかった(笑)。

本格的に文章修行を始めたのは二十代も半ばになってからのことで、専業主婦からのスタートであった。

藤原 子供を塾に行かせていたので、自分も何かしなければと、国家試験を目指して勉強したこともありましたが、事情があつて断念して、残念な思いを捨て切れずにいた時、心の奥で眠っていた「文章を書きたい」という願望が頭をもたげてきたんです。それで、小松左京さんが主宰されていた「創翔塾」に通い始めました。

三年後、塾の卒業作品として書いた、テレビドラマ『部長刑事』

の脚本が、コンクールで賞を受け、高視聴率を得た。「この調子で、まずはシナリオ」との周囲の勧めに従い、ドラマの脚本を次々と書き下ろすようになる。いつかは時代劇も書きたいと、時代考証の勉強を続けた努力が実り、里見浩太朗主演で人気を博した『長七郎江戸日記』などの仕事にも恵まれた。

藤原 でもね、関西にいくと、どうしても東京からこぼれ落ちてきた仕事を奪い合う形になってしまいます。書く内容も、自由というわけにはいかない。制作側に強い権限がありますのでね。そんな中で何年もやってきて、「やっぱり、いつかは小説家になる」という思いが強くなっていました。

## 回り道しながら、夢に近づく

時代小説ブームといわれる昨今、作家は



山ほどいる。売れなければそれでおしまい、の厳しい世界で、どのように差別化を図り、生き残るのか。藤原さんは正攻法をとった。

藤原 安易な書き方は絶対にしたくないのです。フィクションとはいえ、時代背景、政治や社会の事情などをきちんと知った上で話をつくっていくと、





# 生きること、 その愛しさを描き続ける



あの、私、離婚を経験したのですが、その時に、「今が取り込みの時代ですよ」という啓示を受けたような気持ちになったんです。忙しい時には叶わなかったのですが、日本史と、その研究方法をきちんと学んでから小説に臨もうと、思い切って立命館の史学科に社会人入学しました。

一時より減らしたとはいえ、仕事と並行しての学生生活には苦勞も多かったですが、必要な資料の探し方、調べ方がわかり、勉強して良かったと思っています。

いよいよ波に乗れるかと思いきや、人生には回り道が付き物だ。短編が編集者の目に留まり、期待がふくらんだ矢先に、当の編集者が転勤してしまったり、亡くなったりもした。あと一步のところまで夢が開花しきらない。卒

業後東京に出て『はぐれ刑事』の脚本を書きながらも、「このままではだめ、何とか小説を」と胸は逸った。大手出版社の編集者だった知人と、大転機をもたらす再会をしたのは、そんな時だった。

**藤原** その方、出版社と作家との間を取り持つエージェントのお仕事を始めたところだったんです。私の企画書を出版社に持ち込んで、「三冊は約束します」というお返事を取り付けてきてくださいました。

一冊目が出た時、「書店での感触がいいので、すぐに次を書いてください」と言われて、大急ぎで二作、三作と続けるうちに、お蔭様で順調に部数も増えて、誰よりも私が驚いています（笑）。

## 江戸の女たちに 思いを託して

このデビュー作「隅田川御用帳」シリーズ（廣済堂文庫）は、江戸深川の縁切り寺「慶光寺」門前の御用宿「橋屋」が舞台である。夫と別れたくても別れられず、寺に駆け込んで来る女たちと、彼女たちの事情を調べて立ち直るを助ける橋屋の人々、すなわち主人公の浪人堀十四郎と女主人お登勢らが、悲喜こもごもの人間模様を繰り広げる。捕物帳と人情ドラマ、両方の要素が生きていて、実に読ませる。二年間で九冊という超ハイペースで刊行されているのも頷ける。

他のシリーズに、「橋廻り同心・平七郎控」（祥伝社文庫）がある。かつて黒鷹と

Hisako



藤原緋沙子さん

- 高知県に生まれる。
- 結婚し、専業主婦になる。以来30年間を京都で過ごす。
- 小松左京主宰「創翔塾」にて文章創作を3年間学ぶ。
- 1984年、テレビドラマ「部長刑事」で脚本家デビュー。その後「長七郎江戸日記」「京都妖怪地図」「はぐれ刑事」などで活躍。
- 1997年、立命館大学文学部日本史コースに入学。社会人入学第1期生。
- 2001年、大学卒業。のちに上京する。
- 2002年12月刊行の『雁の宿』を皮切りに、廣済堂文庫「隅田川御用帳」シリーズ3作を立て続けに発表、小説家としてデビュー。既に13冊を上梓。廣済堂、祥伝社、双葉社、講談社、徳間書店からの刊行予定に合わせ、パワフルに執筆中。

## Present

藤原さんから 読者へプレゼント！

「隅田川御用帳」「橋廻り同心」各シリーズ「こころ」12月刊行の最新刊を含む三冊セットを、それぞれ10名の方に抽選でプレゼントします。最新刊は、『紅橋（隅田川御用帳）』『雪舞』（橋廻り同心）です。住所・氏名・卒年・学部を明記して、葉書またはファクシミリで校友会事務局までお申し込み下さい。一月一四日（金）締切。

呼ばれた腕利きでありながら、上役の失態の責をなすりつけられ、橋の保存修理を行う閑職に追いやられた若き同心・立花平七郎が、橋のたもとで遭遇する事件を解決していく。この作品中で橋は、登場人物の思ひ出や約束を想起させる場所として、あるいは川の手前と向こう側とを時に対比させ、時になぐり掛けとして、重要な役目を担っている。

脚本家時代に鍛えたストーリー展開の上手さはもちろんのこと、藤原さんの作品に輝きを与えるのは、その創作信条だ。

藤原 主人公にしろ、物語の舞台にしろ、他の作家さんがなさらない設定で作り上げたいですね。まだ誰も書いていない材料を探すために、そして、物語にリアリティを持たせるために、いつも調べ物をしています。例えば朝鮮人参は、いつ頃どんなルートで入ってきたのか、栽培に成功した地域はどこか、それがどのくらいの収入をもたらした、当時のお医者さんほどの程度の値で患者に施していたのか、といったこと。お饅頭一個にしても

砂糖や小豆などの当時の値段を勘案して、時代に即した値段を書くように努力しています。

また、当時の古地図や資料をもとに、読者の方が、小説の中に生き、その目でその時代を確かめられるような書き方に終始しています。

歴史的、経済的、様々な時代背景を探りながら、女性も従順で美しいばかりでなく、自分の意思を持った女性、たとえ時代に翻弄されることがあったとしても、人として自分を見失うことなく生きていく女性を登場させるようにしているつもりです。

実際、私たちが想像している以上に、江戸時代の女性は、生き生きと暮らしていました。例えば縁切り寺は、そういった女性の意思を知る格好の場所だと思っています。私自身離婚を経験していますから、よりいっそう、深い思いをこめて書いています。

常に弱い人の立場に立ち、市井の人達の視線で物事をとらえ、悲劇に終わっているように、細やかな幸せ、小さな喜びを感じられるようにと書いています。

かつて、「小説は歳をとってから書いたほうがいい」と言われた意味が、今とてもよくわかると藤原さんは言っています。

藤原 人生は切なくて哀しいものです。しかしそれを噛み締めることが、実は生きている証であり、大切なことなんです。

傷つけ、傷つけられる哀しさや辛さ、親子の情愛、男女の情愛、人と人の絆、人生の機微を感じるのはそういう時です。年齢を重ねれば重ねるほど、実感します。

小説は歳をとってから書いたほうがいいというのは、そういう事だったんだと思います。

これは余談ですが、人生二つことと努力を重ねることが大切だと思います。寄り道も失敗もあつていい。努力していれば、目標は達成できるものなのです。

小説家として、様々な人の人生を語りながら、生きることの愛しさを見つけていきたい。そして、いつも初心に立ち返って、自分自身を見つめながら歩いていきたいと思っています。

# 窓の師恩

恩師の近況や人となり、思い出を、教え子が紹介します。

教え子

芝田 宇佐男さん(69歳) 産経

産業社会学部一期生。学園紛争の只中に卒業。京都府社会福祉協議会事務局に入学し、現在事務局長。

## 真田 是

名誉教授(産業社会学部)

●さなだ なおし  
●1964年～1999年  
[専門]  
社会学



病魔跳ね除け  
只今『戦後民主主義研究』  
に奮戦中！乞うご期待！

真田ゼミ同窓会はこれまで「還暦を祝う集い(88・12)」、「立命館退任時の励ます集い(94・3)」等を折々に開催し、恩師を囲んでのゼミ同窓生間の旧交を暖めてきている。

二〇〇一年夏、病魔が先生にとりついた。今だから明らかにできることだが、病室を見舞った際に、いつも毅然とされている恩師の風貌の変化に愕然とした時もあった。以来、一年余の壮絶な闘病生活が続いた。病魔摘出の大手術で入院。退院間もなく病果の根絶治療のために再入院。まるで修行のような治療に挑み続け、恩師は不屈の闘病心で病を克服した。

退院後には「自宅闘病中の先生を励ます集い(02・5)」――容態急変で恩師は突然の欠席――、「退院を祝い励ます懇親会(02・10)」を開催した。二〇〇三年一〇月には、不死鳥のごとく研究生活に復帰された恩師を囲む会を催した。この折の恩師には、往年の勇姿が戻っており、よく透る張りのある凛とした声音での「講義」を久々に拝聴した。励ますつもりで集った面々は思わず顔を見合わせ、自らの闘病生活の「科学的レポート」と今後の抱負を壇上で語る師の迫力に圧倒されながら聞き入っていた。小生も、『戦後民主主義研究の意義』を熱く説く恩師のこの日の言葉に誘発されて、『平和・民主主義という概念にへ社会を創造し変革する現実的な力』を宿させ、それを社会運動のエネルギー源に転嫁しなければならぬ』というメモを、手元の紙片に思わず走り書いていた。

## 橋本 輝彦

経営学部教授

●はしもと てるひこ  
●1973年～現在  
[専門]  
経営学・経営史



三回生のゼミ決定時に、仲の良かった五人組で橋本ゼミを選択し申し込んだところ、競争率二倍以上の人気ナンバーワンになってしまつてびくびくした。五人で一人の下宿に泊まり込んで徹夜で入ゼミ志願の論文を書き上げて応募したところ、その意気込みを買って貰えたのか見事に全員採用頂き橋本ゼミの一員に！ゼミ旅行は全員参加で信州のスキー合宿！先生のスキーの腕前は大したものでしたよ！

卒業後一八年以上になるが、その時の五名を含む何人かは毎年のように集まり先生を囲んで酒を酌み交わす。ゼミの他の学年でもいくつかは親交が続いており、時々集まりを持っているようである。ゼミや学部の同窓会の機会には大抵参加して、先生に会っている。

一〇年前京都営業所に配属になった時には、真つ先に先生の研究室を訪ねたところ、いろいろな先生方を紹介頂けた。当時ほとんど取引のなかった立命館において仕事の幅が広がり、有難かった。

先生は最近、大学院教育で忙しいようである。大学院が社会人を対象に大阪で開講されているのので、君達も来て勉強しないかと話している。また、アメフトの部長をやっているとのこと、会う度に、パンサーズの活躍ぶりを聞かされる。今年還暦を迎えられたということだが、相変わらず元気に生き生きと過ごしている。

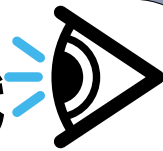
いつも洒落てる  
魅力的な橋本先生の  
ナイスな人生を見習います！

教え子

益田 正己さん(86歳) 経営

在学中はゼミ長。現在、キャンノン販売株式会社大阪支店ビジネスソリューション本部近畿文教販売課課長。





# バイオメトリクス

## —生体識別できる指紋センサー—

藤枝 一郎

立命館大学 理工学部教授



バイオメトリクスとは、  
何ですか。

Q

バイオメトリクスとは、生体の特徴をもとに個人を特定するという技術の総称を意味します。代表的なものとして、指紋が挙げられます。この指紋は、人が持つて生まれて変わらないものであり、いろんな人で必ず違っているものだからです。昔から犯罪捜査に広く使われてきました。また、目の虹彩（こうさい）は、瞳のパターンであり、指紋と同じような特徴を備えていますので、精度を高く特定することができます。最近の試みとして、日本の空港で航空券購入者の目の虹彩をもとに、搭乗の際の個人確認に利用されているという話もあります。その他にも、人の声の声紋や顔の構成要素の位置関係、手の形などが挙げられます。しかし、声紋については、親や兄弟姉妹は似ているといわれますし、顔についても同じ人間でも変化するといわれており、精度的に疑問があります。手の認証については、手の指を計測することによって特定できるようですが、以前、アトラクタオリンピックにおいて、選手の選手村への入退出の際にこの手の形で個人確認されたと聞いています。

指紋認証について  
お聞かせください。

Q

指紋認証は、先に挙げた他のバイオメトリクス技術に比べて、個人特定の精度の面で大変優れています。そして、指紋センサーのライバルとなるものは虹彩だと思えますが、指紋センサーは虹彩に比べて、装置の小型化が有利なため、コストも安くなります。今、パソコンなどにログインするときにパスワードが必要ですが、しかし、そのパスワードは忘れやすく、安全のために変更する必要性が出てくるのが現状です。指紋センサーは、こうした煩わしさを解消し、パスワードの代替として利用できるわけです。その反面、指紋センサーが世に出回るようになると、人は人前で指紋認識しない場面が多くなります。つまり、ニセ指を持ってきて、本人になりますという危険性がでてくるわけです。また、指紋の画像を取る原理は四つほどありますが、なかでも静電型センサーという種類は残留指紋に弱いといわれています。指紋は指の脂のパターンなのですが、この指紋センサーは一度ついた残留指紋に息を吹き掛けることで、残留指紋を復活させることができるという話もあります。そうすれば、本人になりすましてログインできる恐れがあるわけですが、こうした指紋センサーの脆弱性を解決して、高いセキュリティレベルにしたいという動機から、生体識別

キーワードから見る

現代



## バイオメトリクス

—生体識別できる指紋センサー—

2001年の米国同時多発テロの発生後、海外では偽造パスポートによるテロリストの入国防止のため、出入国審査にバイオメトリクス(生体認証システム)を導入する動きが拡大している。

日本でも、政府は犯罪対策閣僚会議で、国際テロリスト対策としてバイオメトリクスの認証システムの導入を検討しはじめた。また、昨今社会問題として大きく取り上げられている、企業が管理する顧客情報等の漏洩を防ぐ手段として脚光を浴びている。

ますます期待の集まる「バイオメトリクス」について、デバイス技術を専門とされ、その応用として生体識別指紋センサを研究されている理工学部藤枝一郎教授にお話を伺った。

できる、つまり、生きているという信号を検出する機能を備えた指紋センサの研究をしています。

生体識別できる指紋センサとはどのようなものですか。

A

指は圧力を加えることで色が変わります。例えば、透明な板に指を押し付けると、指が白くなることを簡単に確認できます。何もしなければ、指は赤いです。こう

した変化をカメラで見えて検出すると、それが生体に特有な反応だといえるのです。これは、血液が動いているだけのことです。指は、末梢血管に血液が充満しているから血液の色に近い赤い色にみえているのです。これを押すと、そこにある血液が周辺に移動して少なくなるのでその分白くみえるというわけです。この押すという動作で指が変形し、血液が動き、色が変わります。指の変形の具合を何らかの情報として抽出する必要があるのですが、現在は指紋画像の面積の変化に注目しています。最初、少ししか当たっていないと指紋画像の面積が小さく、色は赤いです。それを押さえると指紋画像の面積が大きくなって色も白くなるということです。この量の変化をモニターするとい

いのではないかと考えています。

ドの代替として利用できます。しかしながら、指紋のデータを盗まれたときのプライバシー問題に神経質になる人があるのも確かです。いずれにしても、便利さを感じずに怖さを感じる人は使わないでしょうし、その便利さが上回れば広まっていくと思います。利用範囲としては、ノートパソコンや携帯電話ではすでに実現されています。また、マンションの入退室や出入国審査にも利用が始まっています。他に、個人の同定としてバイオメトリクスを利用する場合、顧客データをもとに、レストランや医療機関など様々なところで顧客情報に即したサービスが提供できるのではないのでしょうか。この場合、指紋よりも恐らく顔の輪郭や瞳などの認識のほうが適しているかもしれません。

今後どのように発展するとお考えですか。

A

現代のネットワーク社会において、個人情報漏洩問題は重要な課題です。でも、パスワードは忘れるし、鍵は紛失するので不便です。こうした背景の中で、バイオメトリクスのニーズが生まれ、注目されてきたのだと思います。例えば、指紋センサで一万分の一の精度でユーザを特定することで、四桁のパスワ



Profile  
ふじえだ いちろう

立命館大学 理工学部  
電子情報系・電子光情報工学科教授  
【専門分野】  
画像情報機器、液晶回折素子、  
X線イメージセンサ

■主な著書・論文

- 『Active optical interconnect based on liquid crystal grating』  
(共著、2003年、Applied Optics)
- 『Theoretical considerations for arrayed waveguide displays』  
(単著、2002年、Applied Optics)
- 『Fingerprint in put based on scattered light detection』  
(共著、1997年、Applied Optics)

# 立命館 あの頃

学生生活を追って  
1990年～1995年頃 その①



BKC立命戦合同情宣

## 社会情勢・学園と学生の動向

学生たちは、バブル崩壊による就職難に立ち向かわなければならなくなった。「大学で何を学び、何を身につけたか」が、社会からシビアに問われるなかで、学生の「学び」への要求は高度化、多様化した。

大学は、キャリア教育、留学プログラム等の充実をはかり、あわせてエクステンションセンター、教職センターを開設、各種国家試験や教員採用試験受験者のサポートも開始した。

この間の最も大きな変化は、何と言っても、九四年のびわこ・くさつキャンパス開学であろう。ま

ずは理工学部生・院生が広大な新天地に移り、最新の設備を使って研究に打ち込むとともに、「社会に開かれた大学」の学生として、産業界や地元自治体との連携を進めていった。その後九八年には経済・経営両学部も移転をはたし、現在ある文理融合型のキャンパスとなった。

広い練習場所を必要とする、体育会のいくつかのクラブもBKCへ拠点を移した。アメリカンフットボール部は早速その効果を体現し、移転の年に大学日本一を勝ち取った。

同じ年、最も新しい学部である

政策科学部が産声を上げた。翌年発生した阪神淡路大震災でのボランティア活動等で、早くもその存在感をアピール、立命館大生が積極的に社会に飛び出していく牽引役を果たしたのである。



びわこ・くさつキャンパス

バブル経済が崩壊し、長期複合不況に陥った九〇年代。

気楽な生活を送れる時代は終わり、学生たちは社会に出るために様々な方法で自分を磨こうと、いつもの努力をした。また、そのような時代だからこそ、学生同士のつながりを密にし、学び合う関係を大切にしようという動きも強まった。九四年、理工学部が「びわこ・くさつキャンパス（BKC）」へ移転し、衣笠に政策科学部が新設されると、立命館大学生の暮らしは、現在につながる新しい様相を見せるようになった。

## 議論 談 出 い 思

### 学生の本分を見つめて

#### バブル崩壊 身を引き締める

●九〇年頃のキャンパスには、とにかく学生が多かった。季節のいい頃には、こつた返すキャンパスを離れて、等持院や龍安寺仁和寺まで仲間と足を伸ばしていたよ。

●サークル活動でも、みんな場所を求めていましたよね。私は競技ダンス部。以学館の三・五階あたりの踊り場をよく使いました。モダンジャズバレエ、劇団武道系の団体もいたように思います。あんなに広い場所は他になかったから（笑）。

#### 学生文化

自主ゼミの登壇や、学園祭での留学生交流会などは、インパクトがあったと思います。

●学園祭といえば、プロによる演劇や有名人を呼んでの講演会などが目玉だったね。「プリンセスプリンセス」が来た時、初めてのメジャー系だと大騒ぎになった。

●「古田選手・長谷川投手ビッグ対談」というのもあったな。

●グラウンドを埋め尽くす模擬店もさることながら、特設舞台前に作るキャンプファイヤーが圧巻。京福電鉄から線路の枕木を

躍しました。慶応大学や中央大学など他の政策系学部との交流会といった取り組みもスタート。

●阪神淡路大震災の時、ボランティアセンターをつくって、学生の安否確認や学生・高校生ボランティアの研修・派遣に取り組めたのも、政策科学部一期生たちの力があつたからこそ。これが、「世界大学生平和サミット」成功の原動力にもなった。

#### 理工学部BKCへ

●三回生の時、ゆったりとして静かで、学習しやすくて、けれども人恋しくなるBKCへ移りま



# 学生生活を追って 1990年～1995年頃 その①



ナイトハイク



UBCハウス

## ＜年譜＞

- 1990 ◇創始二〇年・創立九〇周年記念祝賀会開催
- 1991 ◇大園正徳総長就任
- ◇大学全寮廃止
- ◇立命館・UBCジョイントプログラム開始
- ◇びわこ・くさつキャンパス(BKC) 起工
- 1992 ◇エクステンションセンター開設
- ◇アカデミア立命21・国際平和ミュージアム開館
- 1993 ◇外国語教育センター・教職センター設置
- ◇理工学部衣笠学舎さよならの集い
- 1994 ◇理工学部・理工学研究科、BKCへ移転
- ◇政策科学部開設
- ◇立命館大学・アメリカン大学共同学位プログラム開始
- ◇セメスター制度導入
- ◇立命館宇治高等学校設置
- ◇アメリカンフットボール部初の学生日本一
- 1995 ◇阪神淡路大震災
- ◇大阪オフィス開設
- ◇立命館慶祥高等学校設置
- ◇立命館アジア太平洋大学設置構想発表
- ◇川本八郎理事長就任
- ◇世界大学生平和サミット開催

●私は受験者数が初めて一〇万人を突破した九一年に入学しました。先生や先輩が盛んにこのことを賞賛していたのですが、入学した我々にとっては「？」でした(笑)。

●入学した頃、サークルの先輩たちは世間で言われる一流企業に数多く内定していた。ところが、二回生になるとバブルがはじけた。「何で僕らの時に厳選採用になるんや!」と思ったものだ。「大学レジャーランド」とまで言われた学生生活が、途中から急にシビアになった。

●私の頃は、就職はもはや氷河期でも挫けずに「結婚・出産を経ても生き生きと仕事を続けたい!」と思って活動していました。ただ、活動の早期化のせいで、疲れてしまう人も多かったみたいです。

●エクステンションセンターなどで、資格取得に動きましたよね。立命生は真面目なんです。

●友達が、副専攻・ドイツ語コースで学び、春休みを利用した海外セミナーでチュービンゲンへ行つたんです。私も何かプラスアルファの勉強をしなければと思って、法職課程を少し受講しました。授業が埋まりすぎて、疲れて居眠りすることもあったけれど。

●私は二期生として立命館・UBCジョイントプログラムに参加しましたよ。

●九一年の全学協議会では、一〇年ぶりに全学部の学生大会が成立するなど、学生の「このままの生活でいいのか?」という気分が表れていました。「韓国語の授業をつくってほしい」という

譲っていただいて組み上げた大きなものでした。新歓祭典も賑わって。

●歓迎される側だったはずなのに、新歓夜祭では、課せられた立同戦の観戦チケットを必死で売った記憶しかない(笑)。僕は野球部当時の終野球場は、雨が降れば使い物にならなかったんで、雨のなか賀茂川沿いをよく走ったなあ。

●僕らは既にファミコンやテレビゲームに親しんでいたせいだが、個人主義的になっていった世代だよな。

●いや、それでも、皆団結しようとしたし、盛り上げようとする人間が必ずいたよ。

●学友会では、学生活動をリードする新入生を育てようと、学部ごとに「フレッシュマンキャンブ」を始めた。「グレイター立命」を覚えてみんなで歌えるようにし、ついでにチアの「GO BANANAS!」の振り付けも覚えて盛り上がりました。

●「中バ・リーキャン(中央パートリダーズキャンブ)」では学生団体の交流を強めようと努めました。ナイトハイクも、一晩かけて衣笠からBKCまでただ歩くだけというイベントでしたが、ピーク時には三千人が参加。夜通し語り合いながら歩くという体験はとても貴重でした。

●新入生を歓迎し、学生生活へ導く「オリター」制度は、この頃から、「立命らしさ」としての「学生同士が学び合う関係づくり」をより強く意識しながら活動するようになったと思う。

●九四年開設の政策科学部では、他学部からの応援オリターが活

した。

●BKCは、広大できれいだった。ユニオンスクエアから琵琶湖と比叡山が一望できて、こちゃこちゃした衣笠と比べるとうらやましかった。

●理工学部の移転については、生活上の不安を多少抱えつつも、前年から学生も盛り上がりを見せていました。建物の名称募集がありましたよね。全部力タカナの名前。

●開学当初には南草津駅はまだなくて、キャンパス周辺には憩う店も、何もなかった。

●生協食堂もお休みになってしまいう夏休み、昼食にと院生の先輩が連日作ってくださったタイ米の丼物がとても懐かしいです。

●サークル活動の時はBKCから衣笠まで通いました。サークル重視の人は、京都に住んだままでしたけれど、一方で、BKCで新しいサークルを作っている人たちもいました。

●そうだね。移転後の学生生活スタイルをどう作るか、理工学部の学生が集まって考えた。ソーラーカーをつくったり、鳥人間コンテストを目指すなど、それまでのサークルにない活動も立ち上がったね。

●それにしても、総合大学はやっぱいい。教職課程の講義などで他の学部へ行くと、なぜか不思議な高揚感があった。雰囲気の違い学部や学生が存在するのは、いいことだよ。

●僕の最大の収穫は、今も付き合いが続く全国に広がる友人。たくさん下宿生の仲間がいて、夜通し語り合った。全国型の大学で良かったよ。

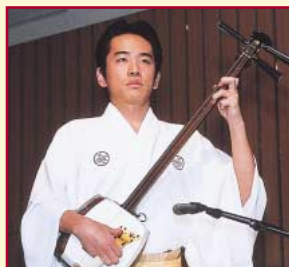
# All Rits 立命館校友大会2004

## オール立命館の仲間が結集した、熱い一日

10月30日(土)、あいにくの雨にもかかわらず、過去最高、1500名を上回る校友が全国からホテルグランヴィア京都に集った。駅ビル外周のイベントエリアでは、現役学生による学園祭プレステージも行われ、京都の玄関口一帯が、立命館カラーに染まった。



大家友和さん



高橋竹秀さん



朴 慶南さん



和太鼓ドン



河原前会長へ感謝の花束を



挨拶する山中会長



### 校友大会

今年から大会名称に“ All-Rits ”を冠した。立命館学園内の各大学・学校とその校友会、父母等の支援者が相互に連携しながらお互いの発展をはかろうという昨今の取り組みを反映してのことである。また、出席できない仲間のために、会場の様子がインターネットで同時中継された。

校歌斉唱に続いて山中諄校友会会長（'65経済）が、発展を続ける母校と校友との間をいっそう強固につなぎたいと、新しいリーダーとしての抱負を込めて挨拶。あわせて前執行部に感謝し、山中会長から退任役員を代表する河原四郎前会長（'56経済）に花束が贈られた。

高橋竹秀さん（'97理工）の津軽三味線で盛大な宴の幕が開く。武田美保さん（'99産社）をはじめとするアテネオリンピック・パラリンピック銀メダリストの4人（p.3からの特集1参照）が登場、凱旋報告をすると、割れんばかりの拍手が起こった。その後は各宴会場で交互に行われた音楽ステージや大抽選会などの楽しいイベントが続き、居住地や職域、あるいはサークルやゼミ単位でテーブルを囲んだ参加者たちの笑い声が絶えなかった。

### 機関会議・講演会等

大会当日、校友会本部常任幹事会・幹事会も同時開催された。校友会本部新監事に林幸雄氏（'73産社）を任命、その他、推薦校友の承認などを行った。

幹事会終了後校友大会までの時間には、本学経営学部2回生で、米大リーグ・モントリオールエクスポズの大家友和投手と、作家の朴慶南さん（'72文）による講演会が催された。困難に挑みながら着実に夢を叶えてきた大家さんの野球人生のエピソードを、朴さんが巧みに引き出し、大勢の聴衆を勇気づけていた。

### 学園祭プレステージ

各ジャンルの音楽系サークルや応援団の学生、タイ国出身のAPU学生等が、若さあふれるステージを披露。11月の学園祭ならびに校友会との連携ぶりをアピールした。



# 「第2回りつめい読者の会」

妙心寺界限  
小さな旅

## を開催しました

「りつめい読者の会」は、校友会広報委員会が読者の皆さんの生の声を聞きたいと、昨年から始めた会です。今年は、二二八号(前号)の特集「京都歴史回廊を行く」の「妙心寺界限小さな旅」を追体験することとし、一月二八日(日)に行いました。

### 第一部

#### 大本山妙心寺山内拝観



玉鳳院にて



揃って記念撮影

## 妙心寺

晩秋とは思えない暖かい日差しのもと、読者・広報委員総勢三名が、妙心寺の大方丈に集まりました。山内を案内してくださったのは、妙心寺法務課長で塔頭「退蔵院」ご住職の松山英照師。一三三七年に始まる妙心寺ならびに臨済宗妙心寺派の歴史を伺ったのち、通常は非公開の「玉鳳院—開山堂」へ向かいました。「玉鳳院—開山堂」は、妙心寺をひらいた花園法皇と、



退蔵院松山ご住職から説明を聞く



列をなして山内を行く

開山として迎えられた無相大師をお祀りしている、妙心寺内で最も重要な塔頭です。狩野派の襷絵や、玄宗皇帝ゆかりの螺鈿細工の唐戸、応仁の乱で受

### 第二部

#### 懇親談話会

けた矢の跡が残る「四脚門」等々が、いにしえの時を切り取ってきたかのようになりました。狩野探幽筆の雲竜図を天井に見上げる「妙心寺法堂」等を拝観してから、

妙心寺北門前の京料理店「萬長」を目指しました。参道から塔頭の紅葉が垣間見えます。「大学のすぐそばが歴史の宝庫であるとは、素晴らしいね」との感想が聞かれました。

談話会は萬長名物「つれづれ御膳」をいただきながら進みました。遠くは愛媛県や埼玉県から参加された皆さんの年齢は七〇代から二〇代まで。一般の校友読者はもちろん、社会人学生であった方、各地の校友会で活躍の方、若手のキャリアアドバイザーの方などの姿が見られ、「りつめい」読者の幅の広さを物語っていました。

尾崎敬則広報委員長(70法)の挨拶

に続いて、参加者全員から誌面へのご意見を伺ったところ、内容のみならず発行回数やサイズに関するに至るまで、多岐にわたる提案をいただき、読者の会の継続開催を望む声も多くありました。これを励みに、少しずつでも誌面のレベルアップをはかろうと、委員会・事務局一同、思いを新たにいたしました。



尾 広報委員長

講演中の石谷さん



一同お膳を囲んで

料理が一段落したところで、萬長のご主人・石谷彰男さん(80経営)が座に加わり、京料理が文化の域に達した背景や料理人の心意気についてお話し下さいました。宴のあとは、アメリカンフットボールの立命館—京大戦に急ぐ人あり、再び妙心寺山内に戻る人あり。それぞれが母校と京都に対する思いを深めた一日となりました。



# 校友会ネットワーク

本年9月中旬～本年12月上旬に行われた各団体の行事です(判明分)

## 都道府県校友会ほか

- 9/18 広島県校友会総会 (160名・リーガロイヤルホテル広島)
- 9/20 兵庫県校友会・東はりま校友会総会 (140名・湊川神社楠公会館)
- 9/23 徳島県校友会総会 (50名・阿波観光ホテル)
- 9/26 埼玉県校友会総会 (50名・ラフレさいたま)
- 10/2 Ritsちば校友のつどい (120名・船橋グランドホテル)
- 10/16 宇部小野田校友会親睦登山 (20名・三瓶山)
- 10/23 宮城県校友会総会 (40名・仙台エクセルホテル東急)
- 10/23 山口地区校友会総会 (43名・翠山荘)



兵庫県校友会・東はりま校友会総会



徳島県校友会総会



山口地区校友会総会



宇部小野田地区校友会総会

- 10/26 和歌山県校友会総会 (120名・ホテルグランヴィア和歌山)
- 10/30 All Rits 立命館校友大会2004 (1500名・ホテルグランヴィア京都)
- 10/30 京都校友会総会 (全国校友大会と同時開催・ホテルグランヴィア京都)
- 11/11 福岡県校友会総会 (250名・ホテルシーホーク&リゾート)
- 11/12 鳥取県東部校友会総会 (50名・白兔会館)
- 11/13 宇部小野田校友会総会 (27名・堀辺旅館)
- 11/14 茨城県校友会総会 (33名・ホテルアルファ・ザ・土浦)



茨城県校友会総会

- 11/20 福井県校友会創立50周年記念総会 (130名・福井厚生年金会館)
- 11/21 栃木県校友会総会 (40名・宇都宮東武ホテルグランデ)
- 11/21 島根県校友会総会 (31名・ホテル穴道湖)
- 11/21 石川県校友会総会 (80名・金沢ニューグランドホテル)



福井県校友会創立50周年記念総会



栃木県校友会総会



島根県校友会総会



石川県校友会総会

- 11/23 広島県東部校友会総会 (76名・福山ニューキャッスルホテル)
- 11/23 校友会九州ブロック会議 (20名・立命館アジア太平洋大学)
- 11/23 ALL-Rits 大分県校友大会 (120名・立命館アジア太平洋大学)
- 11/27 愛知県校友会総会 (400名・名鉄グランドホテル)
- 11/27 佐賀県校友会総会 (57名・はがくれ荘)
- 11/27 鹿児島県校友会総会 (55名・ホテルタイセイアネックス)
- 12/5 東京校友大会 (160名・虎ノ門パストラル)



広島県東部校友会総会



ALL-Rits 大分県校友大会

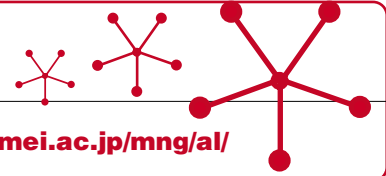


愛知県校友会総会



佐賀県校友会総会

# Alumni Association Network



\*詳しくは校友会ホームページをご覧ください <http://www.ritsumei.ac.jp/mng/al/>

## 地域校友会

- 10/1 テキサス会総会 (猪野小料理)
- 10/2 三重県校友会中勢会総会 (88名・衣笠キャンパス)
- 10/7 タイ国校友会 (18名)
- 10/23 福井県丸岡立命会総会 (25名・料亭「ほんだ」)
- 11/20 丹後地区校友会総会 (47名・吉翠苑)
- 11/26 愛知県校友会今治支部総会 (30名・鳥伸)
- 11/27 在韓立命館大学同門会総会 (貴船館食部)



タイ国校友会

## 職域校友会

- 10/5 石川県庁立命会 (29名・金沢都ホテル)
- 11/25 朋命会 (神戸市教職員校友会) (25名・ホテルモントレ)



石川県庁立命会

## 学部・学科校友会

- 9/25 文学部哲学同窓会 (40名・末川記念会館)
- 10/16 建設会総会 (150名・BKCローム記念館)
- 10/22 立電会総会 (40名・大阪弥生会館)



建設会総会



立電会総会

- 10/22 愛知県衣笠会総会 (建設会愛知県支部) (70名・名鉄ニューグランドホテル)
- 10/23 機友会滋賀県支部総会 (40名・BKCコアステーション)
- 11/13 国際関係学部校友会総会 (40名・キャンパスプラザ京都)
- 12/4 産業社会学部創設40周年記念式典 (530名・衣笠キャンパス)

## サークルOB・OG会

- 9/19 経営研究会同窓会総会 (20名・京都新阪急ホテル)

- 9/19 写真研究会OB会カメラハイク (22名・奈良明日香路)
- 10/9 民家法律学生部会OB会総会 (15名・蕪庵)
- 11/6 経済学研究会OB会総会 (40名・BKCエポック21)
- 11/13 男子ソフトボール部OB会総会 (20名・京都タワーホテル)
- 11/20 証券研究会OB会総会 (41名・聖護院御殿荘)
- 11/20 法律相談部OB・OG会総会 (15名・末川記念会館)
- 11/24 スポーツフェロー総長を囲む集い (70名・京都全日空ホテル)



経済学研究会OB会総会

## その他の会

- 10/5 二七会総会 (26名・京都タワーホテル)
- 10/8 ロータリー立命会 (40名・中村楼)
- 10/9 土木40の会総会 (55名・平安会館)
- 10/12 校友会本部新旧三役実務引継ぎ会 (25名・ホテルグランヴィア京都)
- 10/16 楽人会 (高度専門職グループ校友会) 設立総会 (12名・中川会館校友ロビー)
- 10/17 理工自動車部OB会総会 (12名・末川記念会館)
- 10/21 昭和22専経同窓会 (7名・三嶋亭本店)
- 10/29 32電友会 (29名・エクシブ鳥羽アネックス)
- 11/5 立命塾 (旧Rits Greater Society) (110名・東京ドームホテル)
- 11/14 鳳凰会 (立命館宇治高校同窓会) (130名・京都タワーホテル)
- 11/20 機械工学科S43/院45卒同窓会 (30名・ホテルニューサイチ)
- 11/20 村上弘教授を囲む会 (30名・京都アスニー)
- 11/23 立命館大学衣笠寮友会 (20名・京都タワーホテル)
- 11/28 りつめい読者の会 (32名・妙心寺、萬長)



昭和22専経同窓会



立命塾 (旧Rits Greater Society)



鳳凰会 (立命館宇治高校同窓会)

# 立命館小学校の開設をめざして



立命館小学校設置準備事務室長 浮田 恭子

立命館は、創設以来一貫して「私学」に徹し、常に時代の求める人材育成をめざし、改革のフロントランナーとして高い評価を得てきました。

小学校新設という今次の大事業は、初等教育から高等教育に至る全過程にわたって立命館の「人づくり」を世に問う大きな意義をもっています。

近年、わが国の小学校教育は、「いじめ」「不登校」「学級崩壊」「少年犯罪」「学力低下問題」など深刻な課題を抱えています。

このような中、よりよい教育を求める社会・父母の要請に応え、

立命館学園は「確かな学力」「国際性」「豊かな芸術的素養」

「健全な身体発達・スポーツ教育」「自立性・創造性・正義感とフェアネス」の

観点に立つた確固たる人格形成教育の実現をめざします。

## 立命館小学校の概要と開設までのスケジュール



立命館小学校は二〇〇六年四月の開校をめざしています。学校規模は、一クラス三

〇名、一学年三〜四

クラス、収容定員は

五四〇名、七二〇名

開校場所は北大路校

地（京都市北区小山

西上総町二二番地）

立命館中学・高校跡

地とし、校地面積

一一、七四八㎡、校

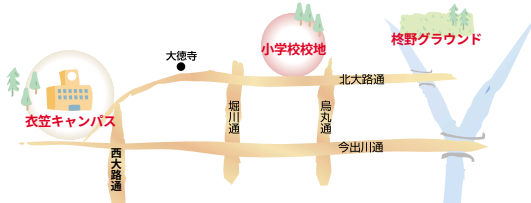
舎面積一一、七〇四

㎡（地上四階、地下

一階建、運動場面積

七、六六五㎡（北大

路校地六、〇六五㎡



校野グラウンド一、六〇〇㎡の学校規模で予定しています。

これらはすべて小学校設置に関わる京都府の認可事項ですので、現段階では「予定」となります。二〇〇四年度中に認可申請二〇〇五年度認可に向けて準備を進めています。

## 教育理念と

### 小学校教育の四つの柱



立命館小学校の教育理念は、学園の建学の精神である「自由と清新」を現代に生かし、「国際性」「人間性」「創造性豊かな人格形成教育」とし、真の「立命館スピリッツ」を持った二世紀のリーダーを育成することとをめざします。教育の基本コンセプトは「確かな学力形成」「豊かな感性」「高い倫

理観」「国際交流教育」の四つの柱で構想しています。

立命館小学校は従来の公立小学校にはない、立命館の一貫教育にふさわしい新たな教育制度を導入します。

第一に、立命館は小中高の一貫教育体制を強化し、学校の区切りは、「六・三・三制」としつつも、教育内容上は「四・四・四制」の教育プログラムとします。「四・四・四制」は、子どもの身体・精神発達の観点から有効であり、基礎学力・基本的生活習慣・学習習慣の重点を育て方を四年一区切りで構想し、特色ある教育内容を創造します。

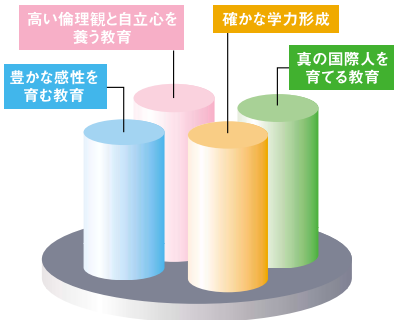
第二に、「高い倫理観」や「正義感」を養成する人格形成教育の実現に向け、立命館小学校は「異年齢集団教育」を重視します。イギリスのパブリックスクール等で実施されている「ハウス制度」を取り入れ、



六学年の縦割りにより、異年齢集団「ハウス」を構成し、社会貢献活動や感動体験学習に取り組みます。上級生が下級生を教育する集団的な教育活動を本格的に取り入れることがその目的です。

第三に、「国際交流教育」は、立命館学園が全学をあげて取り組んできた国際化・情報化の到達点を小学校教育に導入し、国際的な水準の「学び」の環境を整備します。立命館小学校では、国際教育を重視して基礎学力の形成をはかると同時に、早期からの国際理解・国際交流活動教育を推進します。具体的には、立命館大学・立命館アジア太平洋大学で学ぶ国際学生（留学生）との交流や体験学習を通じた実践的学習を取り入れます。さらに、遠隔授業システムにより、立命館大学・立命館アジア太平洋大学との交流や、全国の小学校、海外の小学校との交流も積極的に進めていきます。

### 小学校教育4つの柱



### カリキュラムと 特色ある教育

カリキュラム編成は、先に述べた四つの柱を基本に、八つのキーワード①基礎学



力形成 ②サイエンスを重視したものづくり・体験学習 ③国際交流・異文化理解 ④英語コミュニケーション能力の修得 ⑤芸術教育 ⑥感性の触発（読書・映像・文化）⑦高い倫理観 ⑧身体発達とスポーツ―で具体化を進めています。

例えば、理科教育では、理科実験室二室を設置し、加えて「おもしろ理科実験室」を二室設け、立命館大学理工系教員やサイエンスの専門家のサポートにより様々な楽しい実験を企画します。知的好奇心を触発し、子どもたちが理科好きになる環境の整備を進めます。

国際交流については、立命館アジア太平洋大学との連携により「英語イマージョンキャンプ」や海外姉妹校への留学、教育交流を検討しています。

読書力や表現力を養う図書館「本の蔵（仮称）」は三万冊以上の蔵書スペースを擁し、小学校では比類なき施設となります。

芸術教育の拠点として、「アクトシアター（仮称）」を建設し、演劇活動や映画鑑賞による体験・感動教育の実施を計画しています。「アクトシアター」は音楽ホールとしての機能も充実させ、子どもたち自らの音楽会だけでなく、音楽家を招き、「ほんもの」の音楽に子どもたちを触れさせる環境とします。

スポーツ・身体発達分野では、遊びと本格スポーツの融合をめざし、大学の有するグラウンドの一部に小学校専用グラウンドを設け、馬術や弓道など他では経験できないスポーツに取り組めるようにします。

倫理観や規律の面では、伝統文化室を設置し、茶道や華道から京都ならではの伝統芸能など、歴史的な蓄積から学び、京都全体をフィールドに、体験学習や社会貢献

コミュニティ・サービスなどに取り組みます。

### 社会とつながり、社会に 貢献する教育をめざして



立命館学園の構想する小学校教育は、多様なプログラムの具体化を進め、それを担う教職員体制を構築することによって実現します。構想の実現には、社会との連携を深め、この構想に共感し、支援していただくネットワークを強固に組織していくことが不可欠です。立命館は、小学校設置の意義に賛同いただいた各界の方々による「立命館小学校子ども顧問委員会」ならびにカリキュラム開発に伴う「研究顧問」（別表）を創設しました。このようなネットワークに支えられ、確実に教育効果をあげていくとともに、それを社会に発信し、問題提起し、よりよい教育を創造するポジティブな役割を担う小学校の新設に向け、校友の皆様方の深いご理解と温かいご支援をお願いします。

### 立命館小学校子ども顧問委員会

#### ●顧問委員

株式会社三井住友銀行名誉顧問  
末松謙一氏  
京セラ株式会社名誉会長  
稲盛和夫氏  
独立行政法人国立科学博物館館長  
佐々木正峰氏（元文化庁長官・高等教育局長）  
ローム株式会社代表取締役社長  
佐藤研一郎氏  
日本私立中高協会会長  
田村哲夫氏（渋谷教育学園理事長・校長）

#### ●研究顧問

東北大学未来科学技術共同研究センター教授  
川島隆太氏（医学博士）



## 古田敦也さん・ 武田美保さんの トークショー開催

学生・附属校生徒  
2000名を前に  
思いを語る

二月五日（日）、ヤクルト・スワローズで活躍中の古田敦也さん（88経営）と、アテネ五輪シンクロナイズドスイミング銀メダリストの武田美保さん（99産社）を招いてのトークショーが、衣笠キャンパス第一体育館で開催されました。

二人の学生時代の写真がスクリーンに映し出される中、司会の安齋育郎国際関係学部教授が当時のエピソードを次々に引き出していくと、会場は爆笑の連続。

古田さんは「試験では必死になって頭の中にあることを全部書いていた」と昔を懐かしむように語り、武田さんは「遠征が多かったが、出席できる授業には全部出た。身体表現のゼミに入り、自分のやっている競技を別の角度から見ることができた」と話しました。また、古田さんは「体力的にも精神的にも辛い時があったが、たくさんファンの応援に支えられた」と、武田さんは「銀メダルだったが、大きな達成感を得た」と、それぞれに二〇〇四年の山場を振り返りました。

会場からは、阪神タイガースからドラフト指名を受けている赤松真人さん（産社4）が「何を意識して野球に取り組んできましたか」と質問。古田さんは「その場その場で何が最適かを考えてやってきた。過去の成功に固執せず、これから起きることをしっかり見極めて、プロの世界に順応してほしい」とアドバイスしました。

最後に全員で「グレート立命」を熱唱して、トークショーは終了しました。

祝 産業社会学部  
創設四〇周年

## 記念式典を開催

二月四日（土）、産業社会学部創設四〇周年を記念する一連の行事が、衣笠キャンパスにおいて盛大に開催された。

校友、現役学生ら延べ五三〇名が参加。午前中は産社リユニオンが総会を行い、午後には「記念式典」、「是枝裕和監督を囲んでの映画上映ならびに座談会」、「レセプション」が、滞りなく行われた。

記念式典で佐藤春吉産業社会学部部長は、「複雑で多方面にわたる社会変化を経験している今こそ産業社会学部の理念が活かされる時代であり、このような時代の変化を読み解き、それがもたらす諸問題に立ち向かうことが私たちの共通の課題である」と挨拶、参加者は学部を振り返りながら、世代ごとに学生時代の思い出を交換しあい、今後いっそうの発展を祈念した。



レセプション会場には武田美保さんら著名校友の姿も見られ、現役学生が校友に取材して制作したドキュメンタリービデオも好評を博していた。



2004年夏、国連NGO“ The Interfaith Center of New York” (ニューヨーク宗際センター)において7週間にわたるインターンシップを経験した村上さん。誰も知る人のいないニューヨークでの研修を成功させた陰には、現地在住校友による温かい支えがありました。異文化での就業体験から多くを得たのはもちろん、校友との交流から感じたものも大きかったという村上さんに、お話を伺いました。

ニューヨークでのインターンシップが実現するまでの経緯を教えてください。

まず、学内のインターンシップオフィスに相談に行きました。「何度か訪れたニューヨーク (以下NY) で」と希望したものの、私にはまったく“つて”がありませんでした。オフィスから、NY校友会の事務局を預かっていらっしゃる乾光孝さん (97文) に、インターンシップ先の心当たりを尋ねていただき、それを受けて乾さんが教えてくださったのが、宗際センターのホームページにあったインターン募集記事でした。履歴書を送るなど、いろいろと準備をして、最終的には先方のインターン指導担当の方との国際電話による“面接”を経て、受け入れていただけることが決まりました。存在すら知らなかった“校友会”に助けていただけて、とても有難かったです。

インターンシップ先では、どんな業務を体験し、何を感じましたか。

宗際センターは、多様な人種や宗教が混在するニューヨーク市において宗教が共存していくモデルを世界に示す事を目的として活動しているNGOで、様々な宗教指導者を招いてイベントやセミナーを行っています。私の主な業務は、各種プログラムに招待する宗教指導者の候補をインターネット上の情報などをもとに選出し、リストにするというものでした。信者からの相談が法律問題に絡むことの多い宗教者への法律セミナーというプログラムもあり、これは

## Rits One ときの人



村上 桃子 さん

法学部3回生

M o m o k o M u r a k a m i

### 校友との絆を深めた 海外インターンシップ体験

法学部生の私にとって専門性を深める良い機会でした。センターは国連との繋がりが強く、アナン事務総長も参加された合同行事ではVIPの誘導係をしました。

職場の雰囲気はカジュアルで、スタッフはお互いをファーストネームで呼び合います。しかし日本人である私は、上司とは適切な距離を置くのが当然だと思っていたので、当初、上司は私のことを、あまりフレンドリーではない人間だ感じていたそうです。常勤スタッフ全員がアメリカ人という環境で、最初は心細かったのですが、日本とは異なる慣習に慣れていくにつれて、仕事に自分の持ち味を出すことを覚えていきました。その上司とも友達のようにメールで連絡を取り続けていて、文化の違いが生んだ緊張関係は今では笑い話になっています。

小さくてもファインプレーを重ねていけば日本人学生であっても認めてもらえるのです。ゼロからの挑戦でしたが、諦めず

に頑張って本当によかったです。

NY在住校友との交流はいかがでしたか。

乾さんは神職で、宗際センターとも深く関わっていらっしゃるの、私の研修指導も担当して下さると予想していたのですが、実際には直属の上司はアメリカ人でした。乾さんとは週に1、2回顔を合わせる程度で研修を終えることになるのかな? と思っていたら、乾さんははじめNY校友会の皆さんが、私の歓迎会を兼ねた納涼会を開いてくださったのです。NYでの生活術を授けていただいたり、私の食生活のバランスにまで気遣いをいただいたりしたこと大に感謝するとともに、NYでパワフルに暮らしつつ、変貌する母校へ熱い思いを持ち続けている先輩方に感化されました。

校友と学生とは、交流の芽をどう育てていけばよいでしょうか。

情報の少ない海外においては特に、校友の皆さんは頼もしい存在です。海外へ出て行こうとする現役生の橋渡し役を今後もぜひお願いしたいです。今回私は校友の方のおかげで大きなチャンスを得ました。しかし最終的には独立した個人として面接を受け、業務に取り組むわけで、何から何まで頼れるわけでは決してありません。現役生は与えられたチャンスに応えられる実力を備えておくことが、双方の発展のために大切だと思いました。

母校を同じくする者同士が感じる安らぎが確かにありますよね。立命館大学を介しての縁をこれからも大切にしていきます。



インターン終了後、一時帰国されたNY校友会の安久和伸さん (73理工) と、お世話になったインターンシップオフィス職員の方を交えて再会。



## 衣笠



### ドイツ若手職業訓練生インターンシップを受け入れ



一〇月二二日、立命館大学言語習得センター（CLA）でドイツからの職業訓練生ザビエ・ネ・シエルホルンさんのインターンシップ受け入れが始まった。社団法人日本カール・デ

ュイスベルグ協会の日独相互のインターンシップ受け入れ・派遣事業、『Exchange of Trainees and Company Employees in the Asia Pacific Region』の一環。ザビエ・ネさんはドイツの製薬会社Merckの職業訓練生。五週間の研修中、ドイツ語の授業のサポートを行い、両キャンパスにあるコミュニケーションルームで学生と一対一の会話を担当したほか、CLAでの業務なども経験した。

### 「来て！見て！知って！立命館」2004財政公開・大学公開 開催

一〇月二六日より「2004年度財政公開・大学公開」のパネル展示が、衣笠およびびわこ・くさつの両キャンパスで開催された。

本年度は、特に「教育力強化」を視野に入れながら、二〇〇三年度全学協議会での課題の到達点・成果と「二一世紀学園構想第一期基本計画」

の具体化に係る内容を盛り込んだ公開となった。



### 白川静名誉教授が文化勲章を受章



一〇月二九日、本学の白川静名誉教授が文化勲章を受章した。多年にわたる中国

文化研究さらには東アジア文化研究の発展に顕著な貢献をしたことによるもの。

白川名誉教授は、本学法文学部漢文学科を一九四三年に卒業、五四年から七六年まで本学で教鞭をとり、八一年名誉教授、九八年には文化功労者、九九年には勲二等瑞宝章を受章している。

## 各オフィスほか



### 日立製作所と教育・研究に関する包括連携協定を締結

九月二二日、本学は日立製作所と教育・研究に関する包括連携協定を締結した。

この協定により、早速本年度後期科目「技術者のキャリア」の授業に日立製作所からリレー方式で講師を招いている。これは、学生が技術者

の職業を理解し、自己の将来を意欲して学習に取り組むことを期待しての授業である。また、e-ラーニングシステムの開発や、ロボット、情報、ライフサイエンスなどの分野での共同研究や研究者の育成についても協力していく予定。

### 「大阪発！次世代ロボット実用化プロジェクト研究開発助成事業」に参画

立命館大学は、大阪市の外郭団体である財団法人大阪市都市型産業振興センター公募事業の「大阪発！次世代ロボット実用化プロジェクト研究開発助成事業」に参画し、大阪市北区の大阪駅前第三ビル内に完成した次世代ロボットの研究・交流拠点「ロボットラボラトリ」に入居することになった。一一月二二日、同施設の完成記念式典が行われた。

本学情報理工学部情報システム学科の西尾信彦助教授が『偏在化可能な可変空間型ロボットの研究開発』をテーマに同事業に参画する。



## 附属校



### 立命館 小学校教育フォーラム（第2回）開催

一〇月一六日、衣笠キャンパスにおいて、「立命館 小学校教育フォーラム（第2回）」が開催された。今回は、脳科学の分野から教育のあり方を提案する東北大学の川島隆太教授を迎え、「川島先生と考える脳を育てる小学校教育の可能性」をテーマに

行われた。川島教授は、どのような活動をしている時に脳のどの部分が活発に働いているかを調べる「ブレインイメージング研究」の日本における第一人者で、立命館小学校のカリキュラム検討の顧問である。

B  
K  
C



大学の知的資産を活用した新事業の創出・育成などを目的とする立命館大学BKCIンキュベータが一〇月四日に開館した。独立行政法人中小企業基盤整備機構が整備した全国一四のベンチャー支援施設の中で、大学キャンパス内に設置された初めてのケースである。

同施設は、鉄骨三階建、延べ床面積一七〇〇㎡、研究室やオフィスな

ど合計三〇室の建物で、すでに一九社の入居が決まっている。



## 立命館大学BKCIンキュベータが開館



一〇月二日、びわこ・くさつキャンパス（BKCI）クインズスタジアムにおいて、産業社会学部四回生で歌手の倉木麻衣さんがライブを行った。

このライブはBKCI開学一〇周年と産業社会学部創設四〇周年を記念して行われたもので、学生・校友・教職員・地域の方々が一体となって感動をともにした。

約九〇名の学生実行委員が中心となって準備を進め、応援団やアカペラサークルなどによるステージ企画や、産業社会学部を紹介するパネル展などもあわせて行われた。

## 「Rits倉木麻衣メモリアルライブ2004」開催

九月二七日・二八日の二日間、スタンフォード大学名誉教授のウィリアム・ミラー氏を招いての講演会が開催された。二〇〇五年四月に開設を予定している立命館大学テクノロジー・マネジメント研究科の開設計画企画として実施されたもの。

二七日の講演会は、「Globalism and its Impact on Business Strategy」と題して、びわこ・くさつキャンパスで学生や大学院生を対象に開催された。

## 立命館大学MOT連続講演会 ウィリアム・ミラー教授招聘講演会

象に開催。二八日には会場を大阪に移して、現役ビジネスマンや研究者を対象にした講演「How Globalism Effects Technology Management」ならびにシンポジウムを開催した。



## 大日本スクリーン製造株式会社と 「中国人留学生奨学金」推薦に係る協定締結

立命館大学と大日本スクリーン製造株式会社は、「中国人留学生奨学金推薦に係る協定締結に合意し、一〇月四日、協定書に調印した。

二〇〇四年三月には、立命館大学、上海交通大学、大日本スクリーン製造株式会社との三者間で研究や人材育成の包括協定を締結しており、今回の奨学金制度もこうした連携・協力の一環となる。今回のように特定の

企業が一大学の留学生に対して奨学金制度を設けるのは初めてで、企業の国際戦略と大学の人材育成とが有機的に結びついた新たな産学連携となる。



## タイ国立開発行政研究院開発経済学研究所と立命館 大学大学院経済学研究所「学生交換協定」を締結

一〇月一九日、タイ国立開発行政研究院開発経済学研究所（NIDA）と立命館大学大学院経済学研究所との間で学生交換協定を締結した。

本学とNIDAとは、一九九八年に協力協定を締結し、その後、同研究院と積極的に交流を進めてきた。今回の学生交換協定は、毎年三名

以内の大学院生を交換するというもの。授業は双方とも基本的に英語で行う。今後、英語で修士号を取得できる他の研究科に協定を拡大する可能性もあり、今回の協定を基盤に両大学間の協力関係のいっそうの強化が期待される。

## 大連市と学術交流に関する覚書を締結



一〇月一八日、びわこ・くさつキャンパス（BKCI）において、大連市と立命館大学・立

命館アジア太平洋大学（APU）との間で学術交流に関する覚書が締結された。国際的な産学公連携の推進、東アジア地域の発展への貢献を目指しているものである。

## 二〇〇四年度、本学の以下の三つの教育プログラムが、文部科学省に採択されました。

- 「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GPI）」  
テーマ名「仕事で英語が使える日本人の育成」
- 「法科大学院等専門職大学院形成支援プログラム」（法科大学院における「教育高度化推進プログラム」国際貢献型（地球市民法曹）養成プログラム）
- 「海外先進教育実践支援プログラム」  
立命館大学三件（立命館UBCジョイントプログラム、他。なお、立命館アジア太平洋大学は二件）



# S P O R T S &

## SPORTS

問い合わせ先：スポーツ強化センター  
075-465-7863

### フェンシング部女子

**全日本選手権初優勝 今年度3冠！**

12月3日、岡山県玉野市総合体育館で開催された第57回全日本選手権女子の部エペ団体で、立命館大学は社会人の山形クラブに快勝し初優勝しました。大学王座決定戦、全日本学生選手権に続く3冠めとなりました。

### ホッケー部女子

**インカレで優勝 今年度2冠に**

10月11日、山梨学院ホッケースタジアムで行われた第26回女子全日本学生ホッケー選手権大会で、立命館大学が山梨学院大学を破り、初出場で初優勝を果たしました。ホッケー部女子は6月の全日本大学王座決定戦に続き今季2冠めです。

試合は、立命館大学、山梨学院大学のどちらも一歩も引かない接戦となりました。1-1の同点で終了し延長戦へ。延長戦ではどちらも得点に至らず、勝負はPS（ペナルティストローク）戦に持ち込まれ、立命館大学はこのPS戦を3-1として勝負を決めました。



### 剣道部女子

**全日本大学女子剣道選手権大会 準優勝**

11月14日、愛知県武道館で開催された全日本大学女子剣道選手権大会に西日本チャンピオンとして臨んだ立命館大学は、準々決勝



で大会3連覇をめざす関東の強豪筑波大学と対戦。これを2-1で退けると、準決勝で法政大学を破り（1-1、本数勝ち）、史上初の決勝進出。中京大学と対戦しましたが、0-3で敗れ、惜しくも準優勝となりました。

これまでの剣道部女子の最高位は、現在の吉岡路監督らが現役時代（1993年）に残したベスト8でした。

### 射撃部

**インカレで総合3位に**

立命館大学体育会射撃部は、10月31日から11月3日まで埼玉県長瀬総合射撃場で行われた第51回全日本学生ライフル射撃選手権大会に出場し、総合で3位と健闘しました。



午前中は濃い霧に悩まされる天候となりましたが、立命館大学は、種目別でエア・ライフル競技優勝を果たすなどよく健闘しました。また女子選手の活躍も目立ち、中原麻衣さん（産社2）は、個人でエア・ライフル競技の3位に賞しました。

### 女子陸上競技部

**全日本大学女子駅伝で連覇**

11月18日、第22回全日本大学女子駅伝対校選手権大会が長居陸上競技場を発着点として開催され、1区からトップを走った立命

館大学が一度も抜かれることなく2年連続の優勝を果たしました。なお、APUは主力の欠場もあり19位でした。



### 重量挙げ

**齋藤里香さん 日本新記録を達成**

11月27、28日、横浜市磯子スポーツセンターにおいて開催された第5回全日本大学対抗女子ウェイトリフティング選手権大会で、69kg級の齋藤里香さん（産社3）がス



ナッチで88kgを挙げ、日本新記録を樹立し優勝しました。また、角田祥子さん（法1）も1年生ながら女子48kg級で優勝、立命館大学は総合2位に入る活躍をみせました。

### 弓道部女子

**新記録で関西一部リーグ優勝**

10月31日、奈良女子大学にて、関西学生一部リーグ戦の優勝決定戦が立命館大学と桃山学院大学との間で行われました。4時間にわたる健闘の結果、立命館が69-56で決定戦を制し、2年連続6度目の関西一部リーグ優勝を飾りました。同時に、全日本学生弓道王座決定戦（全国各地区1代表、計10校）への進出を決めました。





# EVENTS

## アメリカンフットボール部

### 甲子園ボウル出場決定

関西リーグの同率優勝校、立命館大学と関西学院大学によるプレーオフが、12月4日長居陸上競技場において行われました。延長戦の末、立命館が24-21で勝利し、大学日本一を決める甲子園ボウルで法政大学と対戦することになりました。

## ラグビー部

### 関西大学リーグ戦 2位

12月4日、花園ラグビー場にて関西学生リーグの優勝決定戦が行われました。立命館大学は同志社大学に34-14で敗れ、全国大学選手権大会へは関西第2代表として出場することが決まりました。

## スポーツ 今後の予定

## アイスホッケー部

### 第77回日本学生氷上競技選手権大会 アイスホッケー競技

【開催日】2005年1月4日～7日

【会場】釧路市柳町アイスホッケー場/釧路市春採アイスアリーナ/十條アイスアリーナ/釧路アイスアリーナ

## CULTURE/ART

問い合わせ先：学生センター  
075-465-8141

## dig up treasure

### ダブルダッチサークルが韓国・慶熙大学校を訪問

11月1日から5日まで、立命館大学と韓国・慶熙大学校との間で締結している「文化・スポーツ交流協定」に基づいて、本学のサークルdig up treasureが慶熙大学校を訪問しました。dig up treasureは、2本の縄

を巧みに操り、アクロバティックな演技を披露するなわとび(ダブルダッチ)サークル。公演は慶熙大学校ソウルキャンパス、水原キャンパスで計4回行われ、延べ500名の慶熙大学生が足をとめ、熱烈な拍手をおくりました。



## 立命館大学吹奏楽部

### 初出場の全国大会で銀賞獲得

10月30日、東京文化会館で開催された第52回全日本吹奏楽コンクール大学の部において、初出場した立命館大学応援団吹奏楽部が銀賞を獲得しました。吹奏楽部長の遠藤僚君(経営4)は「新しい指導者の下で5年間積み重ねてきた成果が出せたと思います」と語っていました。

## メンネルコール

### 全国大会で銅賞を受賞

11月20日、愛媛県民文化会館で第57回全日本合唱コンクール全国大会が開催され、大学B(33人以上)の部に出場した立命館大学メンネルコールは銅賞を受賞しました。メンネルコールは「次年度以降もコンクールに出場し、自分たちの力量を確かめつつレベルの向上をめざしたい」としています。



## 将棋研究会

### 山中恵介さん

### 全国アマチュア王将位大会 準優勝

12月4日から東京将棋会館で開かれた第21回全国アマチュア王将位大会で、山中恵介さん(理工2)が準優勝しました。招待選手の一人でOBの加藤幸男さん('04理工)ら優勝候補を次々と下しての決勝進出でした。この結果、プロの公式棋戦第14期銀河戦への出場権を得ました。

## 囲碁研究部

### 小野慎吾さん

### 全日本学生囲碁十傑戦で優勝

11月20、21日、日本棋院京都本部において第41回全日本学生囲碁十傑戦(朝日新聞社主催)が開催され、囲碁研究部小野慎吾さん(経済3)が優勝しました。このほか、8位に小野拓馬さん(経営4)、10位に山田紘平さん(法2)と、3名もの立命館大学生が十傑に入る大健闘を見せました。



## 文化・芸術 今後の予定

## 立命館大学交響楽団

### 50周年記念演奏会(第92回定期演奏会)

【日時】12月26日(日)

開場15時、開演16時

【会場】ザ・シンフォニーホール

【曲目】ベートーヴェン

交響曲第9番ニ短調〈合唱付〉

【指揮】阪 哲朗(客演)

【入場料】一般：1000円

高校生以下：700円(学生証提示)

＊前号218号の特集は、「京都歴史回廊を行くー衣笠キャンパス界隈ちいさな旅」だった。それにつけてもこの界隈には、金閣寺、龍安寺、妙心寺、仁和寺、等持院、北野天満宮など神社仏閣が多く、さらには美術館、博物館、花街など豊かな文化資源が集積している。この恵まれた「きぬかけの路」に位置する衣笠キャンパスに入学した学生たちは、必ず訪ねたことであろう。歴史のある京都の懐に抱かれて学びたいがために立命館に入学したという学生も多いのである。今、立命館大学は地域に開かれ、地域活性化のために地域連携・社会教育事業をすすめており、この12月には地元地域と協力して「京都歴史回廊協議会」を発足させようとしている。この協議会から、地域を活性化させる、どんな活き活きとした夢のある事業が生まれるだろう。夢といえば、「祭り」を興してみてもどうだろう。祭りは政に通じる。「きぬかけの路」を練り歩く時代祭ならぬ「時代行列」はどうであろうか。(保)

＊前号のモニターアンケートの結果は、特集1「京都歴史回廊を行く」が最高得点、次に高い得点を獲得したのが、「立命館あの日」だった。このシリーズの前身は1999年に始まった「立命館秘話」。地味な連載ながら、多くの先輩方のお力をお借りして、知られざる立命館の歴史をさまざまな視点から掘り起こしたものであった。編集に関わる私たちの方が毎回楽しみにしていたように思う。それが、2002年から「立命館あの日」に引き継がれ、今号と次号で取り上げる1990-95年の巻で、最終回を迎える。私が学生であった頃からほぼ30年が経つが、この間、立命館大学ほど大きな変貌を遂げた大学は他にないだろう。大学の歴史に関心のある校友がこんなに多いのは、その歴史の中に時代の真実と人間の実像を求めるからなのだろうか。(M.K.)

＊白川静先生が、文化勲章を受章された。偉大な先輩の功績に心からの敬意の念を感じるとともに、本当に嬉しい。立命館大学専門部へのご入学が23歳の時。在学中に25歳で立命館中学教諭となられた後、法文学部に入りなおし、33歳でご卒業なされた。立命館との関わりは70年を越え、まさに立命人中の立命人といっても過言ではない。私たち校友の誇りであり宝である。先生の言葉は、混迷を深める現代社会に、そして次代を担う私たちに重く響く。「東アジアにおける漢字文化圏の回復を通じて、国家間・民族間で争うことなく、アジアが一つになることが私の夢です。」その志の高さと今なお持ち続ける熱い想いに深い感銘を受けた。94歳の今も真摯に研究を続ける先生の姿から、学ぶべきことは少なくない。(K.N.)

## りつめい No.219/年4回発行

発行所/立命館大学校友会

発行人/山中 諄

編集人/尾崎 敬則

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

TEL 075(465)8120・8124

Fax.075(465)8125

URL: <http://www.ritsumeit.ac.jp/mng/al/>

E-mail: [alumni@st.ritsumeit.ac.jp](mailto:alumni@st.ritsumeit.ac.jp)

### ●校友会・グループ インフォメーション

| 校友会・グループ       | 日時           | 会場       | 問い合わせ先             |
|----------------|--------------|----------|--------------------|
| 建立会総会          | 1/22(土)14:00 | ヴィアーレ大阪  | 田中 玲光 06(6160)2132 |
| 北海道校友会第50回記念総会 | 1/29(土)16:30 | 札幌パークホテル | 中川 均 011(251)0123  |

### ●校友消息(判明分)

#### 受 章

##### 文化勲章

白川 静氏(43法文)

立命館大学名誉教授

#### 叙 勲 2004年秋分

##### 旭日中綬章

小川博之氏(58理工)

元島根県議

##### 瑞宝中綬章

西川富雄氏(50文)

立命館大学名誉教授

矢野光邦氏(58法)

元東京高校部長

##### 旭日小綬章

中治信夫氏(49専法経)

元姫路市議

田中日佐氏(56文)

美術評論家

田辺和夫氏(59法)

元奈良県議

##### 瑞宝小綬章

神下 守氏(51文)

元公立高校長

和田敏行氏(51法)

元京都府検察庁副検事

長谷川 進氏(56法)

元海自舞鶴補給所長

安川忠治氏(57理工)

元公立高校長

伊吹邦彦氏(58法)

元京都市下京区長

##### 瑞宝双光章

森 省三氏(53文)

元公立小校長

内山 稔氏(58法)

元兵庫県副出納長

##### 危険業務従事者叙勲

##### 2004年秋分

##### 瑞宝双光章

東 寛信氏(50専法経)

警察功労

土屋重展氏(52法)

警察功労

村上吉一氏(56法)

警察功労

##### 瑞宝単光章

大江 昇氏(51法)

警察功労

立花利行氏(53法)

警察功労

小倉 清氏(57法)

警察功労

神原光男氏(66法)

消防功労

##### 受 賞

平田俊子氏(78文)

第12回秋原湖太郎賞

高橋正秀氏(80法)

原 崇氏(96法)他、

新潟日報社

「拉致・北朝鮮問題」取材班

平成16年度日本新聞協会賞

##### 就 任

岩室敏和氏(71産社)

阪南市市長(再選)

勝間勝一氏(65理工)

東亜道路工業(株)専務取締役

柏木雅浩氏(70理工)

(株)グラフィックプロダクツ

代表取締役COO

綿 宏之氏(64理工)

松本油脂製薬(株)専務取締役

##### 訃 報

北沢得五郎氏(44専法経)

(元日弁連会長)

11月7日ご逝去。89歳。

倉本寛司氏(47専工学)

(北カリフォルニア支部会長)

10月4日ご逝去。78歳。

中村福治氏

(国際関係学部教授)

11月20日ご逝去。58歳。



## BOOKS

校友会へご惠贈下さいました本の中から紹介させていただきます。



◆杉野圓明氏(本学名誉教授)著  
『バイカル号は夢をのせて  
回想のシベリア・モンゴル・中央アジア紀行』  
窓映社 \* 2000円

◆川村匡由氏(69文)著  
『社会福祉普遍化  
への視座』  
ミネルヴァ書房 \* 3800円

◆高橋正秀氏(80法)・  
原 崇氏(96法)他著  
『折りー北朝鮮・  
拉致の真相』  
講談社 \* 1800円

◆時岡洋一氏(82文)編  
『英会話の先生が  
こっそり読む本』  
ソフトバンクパブリッシング \* 1650円

価格は本体価格です。

### 2004年度 各種国家試験 合格者数

|         |     |
|---------|-----|
| 司法試験    | 23名 |
| 公認会計士   | 40名 |
| 国家公務員1種 | 36名 |
| 外務省専門職員 | 3名  |

|               |     |
|---------------|-----|
| 家庭裁判所調査官補1種試験 | 2名  |
| 不動産鑑定士試験      | 4名  |
| 弁理士試験         | 10名 |

(いずれも管轄省庁発表数。在学生を含む。)

### あなたの最新の校友情報をお知らせください

お名前・ご住所・電話番号・勤務先等に変更が生じましたら、校友会事務局までご連絡下さい。常に最新の情報をお知らせ下さいますようご協力をお願いいたします。

#### 【住所等変更通知専用フリーダイヤル】

Tel. 0120-252094

Fax. 0120-252095

なお、郵便のご利用や、校友会ホームページの「登録内容変更入力フォーム」からデータをご送信いただく形で変更連絡をお受けしています。

### 各種証明書発行依頼先について

卒業証明書・成績証明書などの発行依頼は、各学部事務局までお願いいたします。

#### ●法・文・産業社会・国際関係・政策科学の各学部

##### 衣笠キャンパス

Tel. 075-465-1111 (代)

#### ●経済・経営・理工の各学部

##### びわこ・くさつキャンパス

Tel. 077-566-1111 (代)

### 「自由席」原稿募集

本誌「自由席」コーナー(今号は休載)へ原稿をお寄せ下さい。日常雑感・在学中の思い出・校友同士の交流にかかわる話題・近況報告など、テーマは自由です。原則600字程度。誌面の都合により、一部割愛等させていただく場合がございます。お名前・卒年・学部・連絡先を明記の上、校友会事務局「りつめい」編集係へお送りください。ペンネームでの掲載も可能です。

